



双葉郡から避難されてる皆様へ

相双ボランティア準備室 ～so-so volunteer～
福島県相双地区の為のボランティア

<http://sosovolunteer.com/>

双葉郡住民のための活動団体、相双ボランティアです。
私たち相双ボランティアは、全国に避難されてる皆様の困り事に、
わずかでもお役に立つ為、立ち上がった、地元双葉郡住民有志を
中心とする任意団体です。

相双ボランティアについて 

- 1)旧警戒区域での活動が中心。要請があればどこでもいきます。
ほかに避難先など、何かの関わりのある地域を基本とします。
- 2)帰還困難区域などでも一時帰宅に同行させていただきます。
地域の復興よりも人としての復興をお手伝いします。
- 3)主な活動内容／掃除／片付け、家具／荷物の搬出、簡単な修繕、
草刈り、庭木伐採、一時期宅のお手伝い／送迎、お墓参り
車がない、頼める人がいない、などご相談下さい。

ボランティア作業実施順序 

- 1、電話またはメールにて申込
依頼したい内容と必要人数の確認、スケジュールの調整
希望のスケジュールにそえない場合お待ち頂くことがあります。
- 2、当日の待ち合わせ、または送迎から作業へ(同伴が原則です)
- 3、ある程度の掃除用具、水は用意しますが、ゴミ袋などの消耗品は
ご用意お願いします。
- 4、帰還困難区域と浪江の一部は、事前にスケジュールを調整し、
各町に実施日、車輛とスタッフ名申請をして頂く必要があります。

まずは気軽にご相談下さい！

970-8026 福島県いわき市平字三倉 57-3 ホワイトビル 101
相双ボランティア準備室 担当：平山
TEL 0246-38-7512 FAX 0246-38-7513
<http://sosovolunteer.com/> E-Mail / info@nomadic.to





双葉郡から避難されてる皆様へ

相双ボランティア準備室 ～so-so volunteer～
福島県相双地区の為のボランティア

<http://sosovolunteer.com/>

どういう人が頼んでくるか／依頼の理由

ほとんどが高齢者

- クルマがない／町の一時帰宅バスでは時間がない
- 人手が欲しい／頼める人がいない
(家族だけでは出来ない、避難後の状況の変化、家族に相談出来ない)
(国も町もやってくれない)
- 家具などをもってこれる業者がない
(家購入や公営住宅への移転による需要)
- 避難先が遠方
- 家だけでなく町の様子もみたい

片付ける事の意味／気持ちの整理

- 散らかっていて何がどこにあるかわからない
- 自分でも忘れてた大事なモノ、思い出のモノが出てくる
- 帰還に向けてきれいにしたい
- 帰らない家だけど、自分が生きてる間はきちっとしておきたい
- 帰らない家でも、きれいにしてからお別れしたい
- 解体前に片付けたい

『双葉郡未来会議』～地元の地元による地元の為の寄り合い～

なにそれ？

主旨「はなれていてもおとなりさん」 その1

双葉郡未来会議とは震災以降、バラバラになった双葉郡の住民同士が繋がり、情報や問題を共有し今後役に立てる、双葉8町村の住民が民間レベルで集まる場所です。
2015年秋から年4回ペースの会議、帰還困難区域も含む各町村の視察、イチエフの視察を予定。

1)「はなれていてもおとなりさん」

双葉8町村は、これまで合併しないでここまでできました。それは原発の存在が大きな理由の一つでしたが、それがこの震災からの避難によって、各町村の対応、方向性が見事にバラバラという弊害を生んだともいえます。しかし、住民レベルでいえば、元はお隣さんの集まりで、私利私欲を抜きに、集い、話し、理解し、助け合える事もたくさんある筈です。

2)「おとなりさんは今、どうなの？」

私たちはとなりの町村の事をどれくらい知っているだろうか？
県内外に散らばってしまっても、もとはお隣の町村同士。みんな自分の事だけでなく、まずはおとなりさんの実情を知り、被害の大小だけでなく、それぞれの立場での難しさをまず理解しあう事から始めたい。今後の双葉郡を繋いで行く為の必要最低限の事だと思います。双葉郡未来会議での定期的会議、帰還困難区域を含む各町村の現地視察やイチエフ視察も行う。

3)「そろそろ近所付き合いも」

これまでは自分のところだけで目一杯だったかもしれない。しかし5年目を送っている今、お隣の事も思いやる、そんな少しの余裕が欲しい。そして、一つの町村だけでは解決出来ない事も、みんなでやればできるかもしれない。双葉郡内で、民間レベルでの連携を生み出したい。この場所で出来た繋がりや情報の共有は必ず、この先のそれぞれの町村、町村民の今後の対応、立て直しの役に立つ。出来る事から始めましょう。

4)「あんまり話は得意じゃない…」

ワークショップ形式ではなく、基本的に勉強会です。そして自分の町村以外の友達も作り、いざという時には助け合いましょう！というのがメインです(飲み会がメインでもかまわない)。

5)「誰がくんだっぺ？」

基本的に地元の住民と、支援に直接関係している方を参加条件とします。懐かしい人に会えるかも。

7)「語り継ぐ為に」

ある意味世界中で注目されて、負の意味で歴史に残る双葉郡の住民として、地元の事を語れないのはハズかしい。

連絡先 970-8026 福島県いわき市平字三倉57-3 ホワイトビル101
平山“two”勉
ノーマディックレコード／(有)ホテルひさご／富岡インサイド／相双ボランティア／ふたば商工(株)
Tel 090-2322-1895 / Fax 0246-38-7513
+++++
富岡インサイド
<http://www.tomioka.jpn.org/>
相双ボランティア
<http://sosovolunteer.com/>

『双葉郡未来会議』～地元の地元による地元の為の寄り合い～

なにやんの？

主旨「はなれていてもおとなりさん」

双葉郡未来会議は年4回の定期会議を開催し、地元やイチエフの視察から、講演会、展示会なども行っていく予定です。**知る、見る、繋がる**事を基本とします。なので、小難しいワークショップはやりません。

予定

2015年9月10日

○第一回イチエフ視察2015年9月10日

2015年10月18日

○大熊町帰還困難区域視察

2015年11月

○双葉町帰還困難区域視察

2015年12月5日

○第一回会議「**広野／楢葉／川内村の現状報告**」

～解除とは何か～

○広野町、楢葉町視察、

○第二回イチエフ視察2015年12月17日

2016年1月

○富岡町帰還困難区域視察

2016年2月

○浪江町帰還困難区域視察

2016年3月

○第二回会議、「**富岡／浪江／葛尾の現状報告**」

～旧警戒区域からの進展～

○富岡町、大熊町、葛尾村視察、

○第三回イチエフ視察

2016年6月

○第三回会議、「**大熊／双葉の現状報告**」

～困難な状況の中で～

○双葉町、浪江町視察、

○第四回イチエフ視察

2016年9月

○第四回会議、「**双葉郡8町村の今**」

○双葉町、浪江町視察、

○第五回イチエフ視察

現状報告には、震災による被害と避難状況、支援体制、事業再開状況など各回にゲストスピーチを予定。(状況によって内容が変わる場合があります)

各議題を取り上げる分科会も予定(議題募集中)

すべて仮案、仮タイトル

○「実際、双葉郡の学校はこれからどうなの？」

○「あん時、地元の警察と消防はどうしたんだっぺ？」

○「実際、双葉郡の動物はどうなって、今どうなんだっぺ？」

○「双葉郡の漁業、林業はどうなっていくんだっぺ？」

○「自治会の声をきいてみる」「各地で町村越えた自治会集めてみる」

○「仮の役場を実際に訪れてみる」

○「実際、津波の被害ってどんくらいなんだっぺ？」

○事業再開してる店にいつてみっぺ！

○「大工さん足んねえんだけど！」

発信と報告／やるからには8町村民への活動報告として、各回後に、フリーペーパー制作と配布、ホームページの運営、Facebook、twitterでの発信、チラシ配布など。